

ホケノ山古墳（こふん）

約1800年前かそれ以前につくられた日本で一番古いと言われる古墳(こふん)のひとつです。大きさは全長約80メートル。発掘調査(はくつちようさ)で銅(どう)の鏡(かがみ)や土器(どぎ)のつぼなどが発見されました。大神神社にホケノ山古墳から発掘(はくつ)されたと伝えられる画文帯神獣鏡(がもんたいしんじゅうきょう)が保存(ほぞん)されています。この古墳は豊鋤入姫(とよすきいりひめ)の墓(はか)とされているそうです。

ホケノ山古墳の様子1



ホケノ山古墳の様子2



ホケノ山古墳の様子3



ホケノ山古墳の説明

